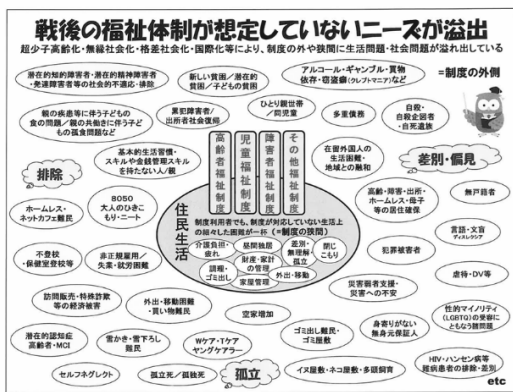


JASM 第5回研究大会開催レポート

去る11月6日(水)、一般社団法人日本社会福祉マネジメント学会の第5回研究大会が、日本橋高島屋三井ビルディング 31階オルクトール・サロン TOKYO ホールにて開催されました。本大会には、研究者、実践者、学生など多くの参加者が集まり、活発な意見交換が行われました。

大会第一部では、駒澤大学文学部社会学科教授の川上富雄先生による講演が行われました。テーマは「21世紀、福祉理念の転換と地域福祉」であり、90分にわたって福祉の理念の変遷と地域福祉の重要性について深く掘り下げた内容が展開されました。現代の社会における福祉の役割や、地域に根ざした支援の必要性について具体的な事例を交えながら説明し、参加者からの質問にも丁寧に応じてくださいました。



戦後の社会福祉の変遷に詳しい川上先生は、2000年初頭の法制度の大変革により、措置であった福祉がサービスへと移行したが、近年、福祉体制が想定していなかった貧困や在留外国人増加に伴う新たなニーズが溢出していると指摘。いわゆる行政サービスだけでは立ち行かなくなると述べ、一部は住民主体の活動に移行していくべきと唱えた。続く、第二部のポスター発表では、学生を交えた若手の研究者らが活発に研究成果を発表しました。(右写真は発表の様子)



発表者	所属	テーマ
金井智恵子	和洋女子大学准教授	幼児期における睡眠習慣と発達面の行動の関連性について
古谷淳	高田短期大学助教	保育人材仲介企業は保育業界をどのように捉えているのか

発表者	所属	テーマ
大道香織	広島大学大学院博士 課程	ドイツ A 森の幼稚園の保育者による elbstständigkeit (自律・自立) に関する視点 — ビジュアルエスノグラフィーを用いたインタビ ューによる日本語・ドイツ語における意味理解—
山下美羽	和洋女子大学	発達障害及び発達が気になる子どもの食事指導

2024年11月11日
第5回JASM研究大会実行委員会